

令和7年度 校長より ⑭

今年の申込者数は188名でした。1月17日(土)と18日(日)は、令和8年度大学入学共通テストが実施され、国公立大学や私立大学の一般選抜型試験で合格を目指す者や既に学校推薦型選抜試験や総合型選抜試験で合格した者の中で受験が必須となっている者など、概ね120名程の者が受験に向かいました。本校は、横浜市立大学、関東学院大学、保健福祉大学、市立金沢高校が会場となり、初日は地歴公民、国語、英語、二日目は理科、数学、情報の6教科8科目の試験が実施されました。19日(月)には、受験者を対象に河合塾等のシステムを使った共通テストリサーチを行い、個人成績の結果や志望校の合格可能性判定の確認を行いました。いよいよ2月からは個別試験が始まります。決して妥協することなく、最後まであきらめずに、自分を信じ抜き、目標を追求し続けていってほしいと思います。体調を整えてしっかりと頑張ってください。

英語科の授業力向上が確実に図られてきています。1月20日(火)は、教育委員会から英語科専門の指導主事をお招きし、本校英語科専任教員の授業観察研究協議及び指導助言を行っていただきました。これは、来年度新入生から新たな英語教育プログラムをスタートさせるにあたり、英語科教員自身が自分たちの指導力を高めることを目的に実施したものです。指導主事には1校時から6校時まで6名の授業を観察いただき、授業後に研究協議と指導助言を行っていただきました。学校全体でも組織的な授業改善の取組は行っている所ですが、教科が自分たちからの希望で単独で実施したものになります。先生たちにより自主的に行う取組は、さらに高い指導力を身に付けようとする志あつてのことであり、校長としては頭の下がる思いです。こうした取組が他の教科にも広がり、学校全体で教員の指導力が高まるよう取り組んでいきたいと思っています。

卒業論文作成に当たり、本校や同窓会たちばな会とのご縁をいただき、8月より度々本校の校史資料室で文献となる資料を探されていた筑波大学の女子学生さんが、1月28日(水)に久しぶりにご来校されました。校史資料室にあった横須賀高等女学校時代の日誌を元に卒業論文を作成し、無事に口頭試問まで終了したとの報告と、これまで本校や同窓会たちばな会に対応いただいたことへの御礼を頂戴しました。とても礼節あるご丁寧なご対応をいただいたことや、本校の歴史の一端を学術研究として世に表していただいたことを、心より感謝申し上げます。こうした取り組みが、いつか生徒の人生に役立ったり、本校の発展に結びついたりするようになることを切に願っております。

令和8年2月

神奈川県立横須賀大津高等学校 校長 幸田 隆